

TOP > [レクチャー](#) > [山下塾第7弾 防災と三助](#) > 山下塾第7弾 第九回講座 自助全般、災害時心理特性、避難

山下塾第7弾 防災と三助

山下 輝男

第九回講座 自助全般、災害時心理特性、避難

初めに

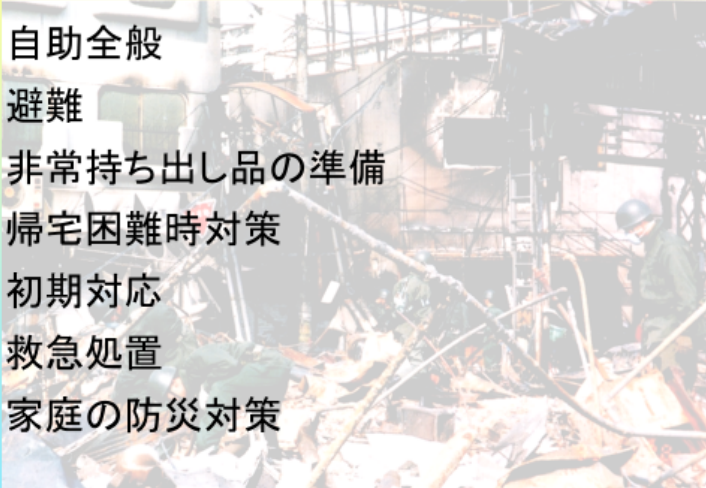
第九回講座では、自助全般、災害時の心理特性及び災害時避難の課題について考えます。

「自助」説明項目

4番目の大テーマは「自助」で、説明する項目はスライドの通りです。

IV 自助の説明項目

- 1 自助全般
- 2 避難
- 3 非常持ち出し品の準備
- 4 帰宅困難時対策
- 5 初期対応
- 6 救急処置
- 7 家庭の防災対策



自助全般

自助は個人の命を守り、被害を局限、最小化することで、色々やるべき事項があります。また、公助等に過度に期待することなく、最小限の自存・自活が出来なければなりません。サバイバルの方法を見つけて、工夫をすることが必要です。

もう一つの側面は、事前に色々確認しておくことが重要だと云うことですね。

自助というときにはこの3つの側面から種々検討しておくべきです。そして、何が問題か、どうすればいいかを常に研究しておくことが求められます。一日前プロジェクトというものがあります。明日、大災害が起きることが明らかな場合に、今日何をすべきかを考えてみて、足らざるところを明確にして準備しようというものです。

内閣府のホームページには、次のように説明されています。

「一日前プロジェクト」

「災害の一日前に戻れるとしたら、あなたは何をしますか」と、地震や水害などの被害に遭われた方々に問いかけました。「タンスがあんなに簡単に倒れてくるなんて思わなかった。」というお話や、「家族と連絡が取れずとても不安だった。」というような体験談から、私たちは何かを学びとることができるでしょう。」

色々と参考になることがあろうかと思しますので覗いて貰いたいですね。

<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/>

自助全般

①被害極限・軽減・安全確保方策
(耐震補強、家具固定、救急・救命、発災直後対応初期消火等)

②自存・自活能力の保持(サバイバル)
(非常持出品、所要の備蓄、最小携行品、生存技術)

③事前確認
(避難関連、安否確認、情報収集、被害様相や救援要領等)

「一日前プロジェクト」って知っていますか？
(“明日被害に遭うとすれば、今日 何をするか”を被害者に聞き取り)

災害時心理特性

最近、大規模災害時に話題になるのが、「正常性バイアス」と云われるものです。

危ない、危険が迫っていると云われても、今回も、大丈夫だ、自分は大丈夫だという全く根拠のない自信・過信に陥る心理状態ですね。危険の予兆を無視したくなる気持ちは解りますし、認めたくないのですが、現実を直視すべきです。人間には斯様な心理的特性があることが解っておれば、バイアスに陥ることは少なくなるのではないかと考えます。

また、迷ったら皆と同じように行動しがちなのも解りますが、それが被害を拡大させている可能性もあります。

人間は、危機時にはどう対処していいか全く判断出来ないと云われており、1割程度の者はパニック状態に陥ってしまいます。そのような際に、正常でしっかり判断できるリーダーが存在して居れば被害は最小限に抑えられるでしょう。

災害時心理特性

災害時心理特性を理解すべし！

① 正常性バイアス(正常化の偏見)の罨

今回も大丈夫、ここは大丈夫、私は大丈夫、まだ大丈夫！

危険予兆の無視

② 多数派同調バイアス(迷ったら、周りと同じ行動をとるの心理)

③ サバイバル10-80-10理論

異常事態時 正常10%、茫然自失80%、パニック10% 《凍り付き症候群(90%)》

呪縛からの解放を！

避難の問題点等

災害が起きる度に、避難が遅れた・間に合わなかった、避難情報や避難指示が解らなかった・聞こえなかった等々の理由で犠牲になるケースが絶えません。

避難情報の種類や発令権者についておさらいをしておきましょう。

避難準備情報というものがありますが、これは2004年の新潟・福島豪雨の教訓から設けられたものですが、これが特に問題を生じさせているようです。

2016年8月の台風10号による大雨で、岩手県岩泉町では、高齢者や障害者などに避難を呼びかける「避難準備情報」が町から発表されたものの、情報の意味が正確に伝わらず、高齢者グループホームで入所者の避難が行われないうまま、近くの川が氾濫して、入所していたお年寄り9人が死亡したことは記憶に新しいところでしょう。内閣府での検討会が開始されました。近々に結論が出るものと思います。

何時も思うことですが、避難について、お上の指示がなければ出来ないというのでは情けないですね。個々人の自主判断が強調されないのは何故でしょう。情報収集の手段は多々あるでしょうし、自らの目と感覚で危険度を判断出来ないというのは寂しいですね。個々人の危機予兆能力を研ぎ澄ますことが一番大事ではないでしょうか？

なんでも直ぐ「上」に頼るといっては情けないし、本当の危機には対処できないでしょう。（言い過ぎ？）

災害時避難の課題等(1)

災害時の避難遅れ等について

風水害のような予見可能な災害で、避難災害が起きるのか

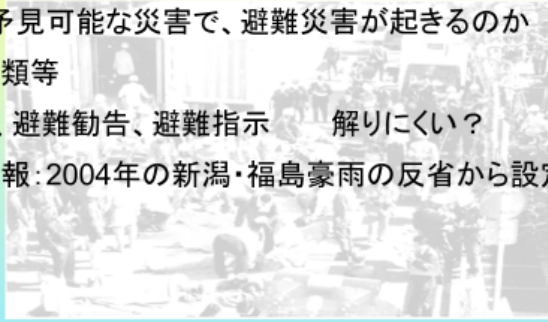
1 避難情報の種類等

避難準備情報、避難勧告、避難指示 解りにくい？

* (避難準備情報: 2004年の新潟・福島豪雨の反省から設定)

2 発令権者

市町村長



避難遅れの原因考察

避難遅れの原因には色々あるのでしょうか。列挙すればスライドのようなものでしょうか？中央防災会議に「災害時の避難に関する専門調査会」がせ、平成22年4月設置された。これは、近年、短時間強雨が増加している傾向にある。平成21年の中国・九州北部豪雨では土砂災害が発生し、福祉施設において避難が間に合わず被害が発生し、台風第9号では、避難中の人的被害が発生するなど、避難のあり方、災害情報伝達等が課題となった。また、平成22年のチリ中部沿岸を震源とする地震による津波では、遠地津波への対応等が課題となった。こうしたことから設置が決まったものである。

本専門調査会においては、(1) 「避難」の考え方の明確化、(2) 避難準備情報、避難勧告、避難指示の実効性の向上、(3) 適切な安全確保行動を支えるための情報提供のあり方、(4) 各主体の防災リテラシーの向上の徹底 について調査を行った。

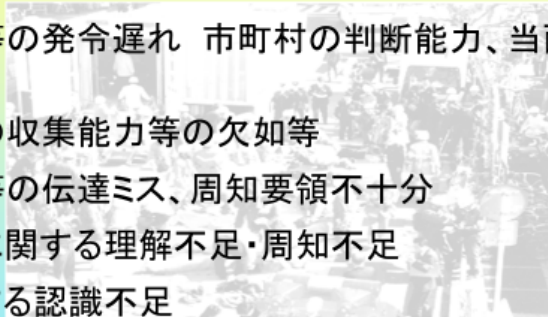
その報告の要点は http://www.bousai.go.jp/kaigirep/chuobou/31/pdf/31_siry06-1.pdf を参照して頂きたい。

参考までに、課題に対する今後の方向性の項目のみをスライド下に記す。

災害時避難の課題等(2)

2 何故遅れたのか？

- ① 正常性バイアス →逃げ遅れ等
- ② 避難情報等の発令遅れ 市町村の判断能力、当面業務多忙、
- ③ 災害情報の収集能力等の欠如等
- ③ 避難情報等の伝達ミス、周知要領不十分
- ④ 避難情報に関する理解不足・周知不足
- ⑤ 避難に関する認識不足
- ⑥ 避難行動要援護者支援不十分




- 1 避難の考え方の明確化
 - ①安全確保行動の明確化
 - ②避難先の明確化等
- 2 避難準備情報、避難勧告、避難指示の実効性の向上
 - ①避難準備情報、避難勧告、避難指示の項目の明確化
 - ②実効性ある避難勧告等の発令基準の策定
 - ③避難勧告等の発令にあたっての実効性の向上
 - ④避難準備情報の実効性の向上
- 3 適切な安全確保行動を支えるための情報提供のあり方
 - ①住民などの安全確保行動に資するハザードマップ
 - ②適切な安全確保行動につながる情報の内容
 - ③多様化している情報伝達手段の活用
- 4 各主体の防災リテラシーの向上の徹底
 - ①各主体におけるそれぞれの防災リテラシーの向上
 - ②市町村の防災リテラシーの向上
 - ③防災の専門識能の向上

避難についての基本的な考え方

今まで説明したような避難実施上の問題点を踏まえた避難についての基本的な考え方はスライドの通りです。

避難についての基本的な考え方

- ①避難の要否の判断:基準はない！
 - ・避難勧告の発令状況等を自ら判断
 - ・躊躇なく避難を決断
- ②避難準備
 - ・電気のブレーカー、ガスの元栓閉め
 - ・家人への連絡事項貼付
 - ・非常持出品の確認、貴重品の携行
- ③避難時の服装
 - ・頭部や手の保護
 - ・底の厚い歩き易い靴
 - ・肌の露出を回避
 - ・両手はフリーに
- ④徒歩移動且つ集団行動
 - 車両不可、隣近所と、指定ルートを、
- ⑤避難場所
 - 通常は指定場所(事前確認の要あり)、状況により他の指定場所
 - 一時集合場所から他の地域へ移動
- ⑥要援護者及び児童生徒等の避難(支援)



キーワード▶ [三助](#)・[公助](#)・[共助](#)・[大規模災害対処](#)・[山下塾](#)・[山下塾第7弾](#)・[自助](#)・[防災](#)

いいね! 0

INDEXへ戻る

次の記事 [山下塾第7弾 第十回講座 4つの備え、帰宅困難時対策](#)

前の記事 [山下塾第7弾 第八回講座 ボラセン&児童生徒の避難等](#)

[ページの先頭へ](#)

関連サイト

[防衛省](#)

[統合幕僚監部](#)

[陸上自衛隊](#)

[海上自衛隊](#)

[航空自衛隊](#)

